

## 12月に人身事故多発 気を付けるポイントは？

○年末の慌ただしさ ⇒ 注意力の低下

○日暮れが早くなる ⇒ 発見の遅れ

2015年12月2日(水)18時1分

今年もあと1カ月。何かとせわしなくなる師走だが、注意したいのが交通事故だ。兵庫県警によると、12月は毎年、月別で最も人身事故の発生が多い。徒歩や自転車で移動中に車にはねられる事故も多発。事故に遭わないため、起こさないために、気を付けるポイントは何か。県警交通企画課の課長補佐に話を聞いた。

12月に事故が相次ぐ原因について、課長補佐は年末の慌ただしさと日暮れの早さを挙げる。「気ぜわしくなって、事故に対する注意力が下がる上に、日が短くなる。車のドライバーは歩行者や自転車を発見するのが遅れ、事故につながっているのだと考えています」



事故を防ぐには何をすればよいか。課長補佐は「歩行者や自転車は、反射材を身に着けるなどして、ドライバーに姿をアピールすることが大事です」と話す。事故の原因として前方不注意が多く、「反射材を身に着けていれば、車の運転手が気付きやすい」と説明する。



一方、ドライバーに対しては「早めにライトを点灯し、上向き(ハイビーム)で走ってください」。道交法は車のライトを上向きにして走行することを前提にしており、対向車とのすれ違い時には下向き(ロービーム)に切り替えるなどして対処するよう義務付けている。

「大切なのはゆっくり走行すること。スピードを出すと視野が狭まり、飛び出しに気付いても急には止まれません。時間に余裕を持って運転することも、重要なポイントです」と指摘する。

年末は飲酒する機会も増える。県警は「飲酒運転撲滅」を重要課題に掲げ、啓発に力を入れる。課長補佐は「交通事故は善良な市民を、一瞬で加害者にも被害者にもする。事故に気を付けて、良い年末年始を迎えましょう」と話していた。